

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
 代 表 者 名 代表取締役 谷 直 樹
 (コード番号：4579)
 問 合 せ 先 常務執行役員 河田 喜一郎
 (TEL. 052-446-6100)

旭化成ファーマ株式会社との疼痛治療薬に関する共同研究契約締結のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、旭化成ファーマ株式会社（代表取締役社長：堀 一良、本社：東京都千代田区、以下「旭化成ファーマ」）との間で、疼痛治療薬の創出を目指し、特定のイオンチャンネル（注）を標的とした創薬研究に関する新たな段階の共同研究契約（以下「本契約」）を締結することを決議しましたのでお知らせいたします。

1. 業務提携の理由

当社と旭化成ファーマは、平成26年4月に共同研究契約を締結し、創薬研究を推進してまいりましたが、平成27年12月に旭化成ファーマより共同研究の成果に基づくマイルストーンの早期達成が認定され、マイルストーンの達成一時金および早期達成の報奨金を受領するとともに、両社間で新たな段階の共同研究について協議を行うことで合意しておりました。この度、旭化成ファーマとの協議が整い、契約締結に至りました。

2. 業務提携の内容

本契約により、当社と旭化成ファーマは協力して、新規疼痛治療薬の創出を目指します。当社のイオンチャンネルに関する技術および創薬研究全般に関する独自の技術ノウハウと、旭化成ファーマの疼痛領域における創薬研究開発のノウハウとを合わせ、疼痛治療薬の創出と開発に共同で取り組みます。

本契約により、当社は、研究協力金及び研究成果に応じたマイルストーンを受け取る権利を得ます。また、今後も両社の発展的協業体制の構築へ向けて検討を続けてまいります。

3. 業務提携の相手先の概要

(1)名称	旭化成ファーマ株式会社		
(2)所在地	東京都千代田区神田神保町一丁目 105 番地		
(3)代表者	代表取締役社長 堀 一良		
(4)事業内容	医療用医薬品、診断薬用酵素、診断薬の製造・販売		
(5)資本金	30 億円		
(6)設立	平成 15 年 (2003 年)		
(7)大株主及び持株比率	旭化成株式会社 (100%)		
(8)上場会社と当該会社との関係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
	人 的 関 係	該当事項はありません。	
	取 引 関 係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	

※同社は、旭化成グループの事業会社であり、「最近3年間の連結経営成績及び連結財務状態」が不明であるため、記載していません。

(参考情報：旭化成株式会社の概要)

(1)名称	旭化成株式会社		
(2)所在地	東京都千代田区神田神保町一丁目 105 番地		
(3)代表者	代表取締役社長 浅野 敏雄		
(4)事業内容	繊維、化学、住宅、建材、エレクトロニクス、医薬・医療の事業を行なう会社の株式保有およびその事業活動の管理等		
(5)資本金	1,033 億 89 百万円		
(6)設立	昭和 6 年 (1931 年)		
(7)上場会社と当該会社との関係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
	人 的 関 係	該当事項はありません。	
	取 引 関 係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(8)当該会社の最近 3 年間の連結経営成績及び連結財務状態 (百万円)			
決算期	平成25年 3 月期	平成26年 3 月期	平成27年 3 月期
連結純資産 (百万円)	824,451	925,766	1,097,722
連結総資産 (百万円)	1,800,170	1,915,089	2,014,531
連結売上高 (百万円)	1,666,640	1,897,766	1,986,405
連結営業利益 (百万円)	91,960	143,347	157,933
連結経常利益 (百万円)	95,125	142,865	166,543
1 株当たり連結当期純利益(円)	38.43	72.48	75.62
1 株当たり配当金 (円)	14.0	17.0	19.0

4. 日 程

(1) 取締役会決議日	平成 28 年 3 月 22 日
(2) 契約締結日	平成 28 年 3 月 22 日

5. 今後の見通し

本契約締結による、平成 28 年 12 月期通期個別業績に対する影響につきましては、平成 28 年 2 月 12 日に公表した平成 28 年 12 月期 (平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日) の通期個別業績予想に織り込み済みであり、変更はありません。

(注) イオンチャネルとは、細胞膜上にイオンの通り道を形成する膜貫通型タンパク質の総称です。細胞内外に存在するイオンを透過することによって、膜電位の維持・形成を行います。興奮性細胞では活動電位を発生させ、知覚神経や運動神経における情報の伝達や様々な組織での神経伝達物質の放出を調節しています。このようにイオンチャネルは生体内で重要な役割を果たしています。

以 上

(参考) 当期業績予想 (平成 28 年 2 月 12 日公表分) 及び前期実績

	事業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
当期業績予想 (平成 28 年 12 月期)	百万円 950	百万円 △819	百万円 △819	百万円 △825
前期実績 (平成 27 年 12 月期)	百万円 145	百万円 △1,864	百万円 △1,795	百万円 △1,854